

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** 西野さち子 です！
京都市会議員

発行：2023年2月26日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



戦争はあかん！ 平和の思いを広げるために



伏見憲法9条の会が学習会

9条の会醍醐も参加している伏見憲法9条の会の主催で、今、岸田内閣が進めている戦争への危険な流れを止めるための学習会が開かれました。「戦争はあかん！ 平和の思いを広げるために」と題しての講師は弁護士の福山和人さんです。「ミサイル発射の兆候を

探知できるか？」「アメリカと一緒に戦うってどういうこと？」「国会軽視は国民主権の破壊」「ほかに道はないのだろうか」「地方議会は地方住民の為の意見書・決議を国会に上げられる。地方から声を上げよう！住民の声を聞く地方議員を増やそう！」「私は平和の道を行きたい」と締めくくられ、岸田内閣の問題点や世界の流れをほんとに分かりやすく話されました。質疑応答も活発に行われました。



予算議会始まる

来年度予算案発表

来年度の予算を審議する議会が、2月16日から始まりました。3月22日までの予定です。開会の本会議で市長は「財政は破綻しません」「ご安心ください」と予算概要の報告をしました。「500億円足りない。財政破綻する」との宣伝はどこへ行ったのでしょうか。財政破綻しないと言っても改悪された敬老乗車証制度は今年さらに負担増です。高すぎる国保料は下がりません。コロナ禍や物価高騰に苦しむ市民の支援こそ必要です。共産党市会議員団はすぐに団長談話を発表しました。以下はその一部です。「市民負担を押し付ける一方で、市庁舎整備、学校統廃合、三施設一体化事業、市立芸大整備など不要不急の大型公共事業の見直しはなく、将来に多大な負担を残す北陸新幹線延伸や北山エリア整備は推進する姿勢を変えていません。これまで優遇されてきた大企業や富裕層に対する応分の負担を求める党議員団の提案に背を向けています。さらに、高さ規制の緩和など呼び込み型開発を進めようとしています。今回示さ

れた予算案は、市民サービス削減を継続し、条例制定でさらに促進しようとするものです。コロナ禍と物価高騰の中、京都市に求められるのは、市民サービスの復元と負担軽減です。市民負担を押し付ける「行財政改革計画」を撤回し、市民の暮らしと営業を応援する予算案に組み替えるよう強く求めます。予算案には、子ども医療費助成（通院200円）の3歳未満から小学校卒業まで拡充、全員制の中学校給食実施に係る調査費計上、保育料が昨年に続いて2年連続据え置き、地下鉄運賃値上げの回避などが盛り込まれています。市民の粘り強い運動と党議員団の論戦の共同による大きな成果です。党議員団は、引き続きみなさんと力を合わせ、市民の暮らしの願い実現へ全力を尽くします。」

来年度予算案の規模は、全会計で1兆7970億円、一般会計で9204億円です。



京都市は高さ規制の緩和で高層マンションを建てれば若者が増えると、都市計画の見直しを進めています。また、北陸新幹線の延伸計画は推進の立場で、地下水や土砂の問題、財政負担の問題は全く気にもしていません。更に、京都府と一緒に、北山エリアの開発計画を進め、貴重な植物の博物館と言われている植物園をこわし、府立大学の体育館を1万人規模のアリーナを建設する計画です。京都市の都市計画では立てられない建物まで可能にしようとしています。そして、仁和寺門前や相国寺前にはホテルを特例で許可をしようとしています。市民の皆さんと共産党議員団は、京都市はこれでいいのかと宣伝をしました。

「まち壊し
これでいいのか京都」
昼休み宣伝